

録  
明治  
四月  
日  
對  
同  
國  
官  
民  
德  
度  
明  
竹  
在  
任  
本  
邦  
人  
對  
對  
外  
人  
之  
感  
應

1  
1  
2  
13

REEL No. 1-0079

0364

明治四拾四年四月廿壹日接受

善政務局

察政第九一號

秘受第一三〇一號

附屬書類添附

朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎



外務次官石井菊次郎殿

鴨綠江對岸情況報告ノ件

鴨綠江對岸情況ニ関シ別紙寫  
通平安北道長官ヨリ報告有  
之候ニ付之ニ對シ相當ノ御措

四十四年四月二十二日 一部受

朝鮮總督府

置相成度此段申進候也

明治四十四年四月十四日

鴨綠江對岸  
在朝鮮人向  
地等ノ下

出

MT 11263 00002

MT 11263 00001

REEL No. 1-0079

0365

秘第六七號

平安北道長官川上常郎

朝鮮總督子爵寺内正毅殿

對岸情況ニ関スル報告

一、鴨綠右岸一帶清國人ノ人氣ハ近來益々險惡  
 ニシテ苟モ日本人及日本人ニ加擔スル朝鮮  
 人ヲ見レハ直接間接ニ迫害シ情況調査ハ勿  
 論殆ント旅行ヤ、不可能ナル情態ニ在リ通

朝鮮總督府

化ニ在リシ日本商人、如キハ遂ニ居ルニ堪  
 ヘスシテ安東縣ニ引揚ケタリト聞ク

二、清國官憲ハ鮮人中清國ニ服從シ歸化セント  
 スルモノニ對シテハ寧口之ヲ庇護シ招撫セ  
 ントスルモ日本ニ依リ朝鮮官憲ニ倚賴セン  
 トスルモノニ向テハ百方迫害シ排斥セント  
 スル態度ヲ暴露シテ憚ラヌ

三、楚山ノ對岸地方所謂西邊界ニ東清鮮人公議  
 會ナルモノアリ本部ヲ雲山面ニ置キ支部ヲ  
 各面ニ置キ各面各洞ノ面首洞首ヲ會員トナ

MT 11263 00004

MT 11263 00003

REEL No. 1-0079

0366

シ西邊界一帯ニ號令レテ大ニ黨勢ヲ擴張セ  
ントシ今ヤ侮ル可カラサル勢力ヲ呈シツ、  
アリ

四、公議會ハ韓國ハ日本ニ併合セラレタルモ朝  
鮮人ハ決レテ日本人タル可カラスト揚言シ  
日本ニ服従セスト盟ヘル同志ノ一團ナリ而  
シテ暗ニ清國官憲ト結托シ清國ノ虎威ヲ藉  
リテ橫梁ス

五、會長ヲ朴永運ト云ヒ常ニ其所在ヲ暗マレテ  
神出鬼没ス現今妻ノ母ノ病ヲ見シカ為メニ

朝鮮總督府

妻ト俱ニ京城ニ在リト謂フ役員中主ナルモ  
ノハ金秉セト尹德倍ナルモノナリ尹德倍ハ  
身ニ清國ノ衣冠ヲ纏ヒ兵丁幾人ヲ卒ヒテ躬  
ヲ各面ヲ巡回シ面首洞長等ヲ籠絡シテ何事  
ヲカ計畫シツ、アリ

六、吉岡間島副領事カ楚山居住奉昌周金河用ノ  
二名ニ依囑シテ西邊界ノ情況ヲ調査セシメ  
ントシタルニ彼等ハ宿泊シタル雲下面雲山  
田上洞居李在晏金成允及旧全面長金乃瑜カ  
清國官憲ノ為ニ非常ナル迫害ヲ被リタル事

MT 11263 00006

MT 11263 00005

實ハ前報ノ如シ而シテ清國官憲ハ日本官吏  
ノ鮮人戸口調査ヲモ妨害セントシ一旦命シ  
テ掲ケシメタル各戸ノ門牌ヲモ悉ク撤セシ  
メタル所アリト云フ

七、常ニ鴨綠右岸ニ往來シテ清人間ニ多クノ知  
已親友ヲ有シ後未知縣等ニモ少カラサル信  
用ヲ得ツ、アリシ人ノ談ニ依ルモ近來ノ如  
ク一般人氣ノ險惡ナルハ未曾有ニシテ旅中  
到処宿泊ヲ謝絶セラレ知已親友ト虽モ一泊  
一飯ヲ快諾スルモノ無キ為體ナリト云ヘリ

朝鮮總督府

以上

明治四十四年四月十日

MT 11263 00008

MT 11263 00007

REEL No. 1-0079

0369

文書課長

松越

明治四十四年四月廿五日接受

87

文書課

明治四十四年四月廿六日

第一課

主任

政務局長

主管

機密

明治四十四年四月廿六日

機密第三一號

在安東

木部領事

小村大臣

鴨綠江岸清國側、情況、

關心付

四十四年四月二十一日電報一部受

外務省

鴨綠江岸清國側、情況、關心今般

山縣政務總監ヨリ別紙写ノ通

中核 有之候、白局御参考右

前、及御送付、間御査閱相

有之候、段中進、也

別紙写ノ通、一三〇一号附録書一写、

各名

MT 11263 00010

MT 11263 00009

REEL No. 1-0079

0370

明治四拾四年三月

警務局

憲後第七六八號

受第 385 號

間島清國官憲態度及清人間風俗件

韓特憲兵隊長報告要旨

四月一日

四月一日ヨリ間島ニ於テハ暴徒

状況内偵ノ者ヲ柔遠鎮分遣隊

召喚

ノ派遣ニシテ密偵ニ四月八日飯來

セリ其齋ニテ状況左ノ如シ但

實否尚未調査中

一日下間島(穩城對岸)凉水泉子

駐屯清國官憲ニ朝鮮ヨリ間島

ニ入ルモノノ對ニ全部之ヲ抑

留シ保証人ナルモノニ其係通

過セシメ保証人ナキトキニ三

日間抑留ノ上頭髪ヲ支那風ニ

剃リ放遣シ又間島ヘノ移住者

ナルコト判明セルトキニ必ズ

支那風ニ剃リ居レリト

二現存朝鮮人ニシテ移住者ト

ナリ者一時間島ニ留置セル

者ハ法國友憲ノ為ニ抑留セル

MT 11263 00012

MT 11263 00011

REEL No. 1-0079

0371

ラレ若クハ頭髪ヲ剃ラレハテ  
恐レ遠路ヲ迂回セテ自己ノ用  
便ヲ達シ居リ鮮人ノ迷惑一方  
ナラズト云フ

三、洞島ノ残留スル支那人ノ團體  
汪岸監視ノ者ヲ鮮人ニ渡ル能  
ハ不然ルニ鮮人ノ自由ニ汪  
渡リ農業並ニ燃料採取ノ者ヲ  
洞島ニ入ルヲ得是等汪岸ニ居  
住セル法人モ鮮人モ同様自由

MT 11263 00013

ニ出入ヲナシ得ル如ク局子街  
ニ新フ可シト云ヒ居ル法人ヲ  
リヨリト

四、露國ハルビン地方ヨリ洞島汪岸(總  
嶺ヲ韋地)ノ山中ニ入り来リタル  
法人ノ言ニ依リハルビンヨリ吉  
林省方面ニ向ヒ露國軍隊漸次  
侵入シ法人ヲ苦ナツ、ナリ故  
ニ該地方ノ法人ハ他ニ移住ス  
ルモノ多シト又汪岸地方山中

MT 11263 00014



二 在位セリ法人等ハ何ヲモ  
 知ラスレシハルビニ地分ヨリ素リ  
 多ル法人ノ素クサキ密國ハ先  
 拂目リ侵入シ日本國ハ沿岸  
 於テ冗張リヲナレ法人ノ入  
 國ヲ禁シ居ルト存ニ好ニカ一  
 大戦開カ起ル原因ナリナド一  
 般ニ陽説ヲナレ居ナリ  
 五 法骨及羅子溝附近ニハ暑熱纏  
 綿セリ形跡ナレ

MT 11263 00015

以上

本件報告通報先

陸軍大臣、外務大臣、参謀總長、憲兵司令官、  
 海軍大臣、陸軍省、海軍省、外務省、  
 官房長官、秘書長、

MT 11263 00016

REEL No. 1-0079

0373

文書課長

松越

明治四拾四年五月參日接獲

56

文書課長印

鴨居在四日... 徳云... 日給... 令... 爲... 情... 云... 点... 甚...

明治四拾四年五月二日  
同月二日  
同月三日

別紙

主任

松

明治四拾四年五月參日  
機密第二六號

機密

主督  
政務局長

左内進

大臣

永濤伝承子元

内進情志有言、徳公及情

入右内院

四十四年五月四日記録一部受

外務省

第3門

内進情志有言、徳公及情  
内院  
見込、案、  
報書秘受第一三八号

MT 11263 00018

MT 11263 00017

REEL No. 1-0079

0374

明治四拾四年五月四日 接受

公信第廿八號

青森縣

受第1487

明治四十四年四月廿四日

在 南 島

總領事 永 誠 之 書



外務大臣 伯爵 小村 壽 大 郎 殿

信 角 3

解人 諸 氏、通 行 者 禁 止、付 交 涉

日 未 王 法 縣 百 章、清、於 々

友 書、名、才、暴、徒、取、歸、又、信、益

密 輸、入、及、惡、疫、流、行、取、歸、等、籍

川 船、新、多、武、北、進、ヲ、抑、止、シ

明治四十四年五月十五日

在 南 島 日 本 帝 國 總 領 事 館

多 數、移、住、民、ハ、行、旅、ノ、途、不、慮、ノ、困  
難、ヲ、感、悟、シ、取、同、地、出、張、所、ノ、主、任  
ヲ、報、告、シ、接、シ、ル、所、本、方、ハ、査、査、  
速、速、毎、日、報、告、シ、テ、シ、テ、彭、道、台、代、理  
ノ、業、務、其、ノ、理、由、ヲ、詰、問、セ、シ、テ、如  
未、分、王、法、知、縣、ヨリ、報、告、シ、接、シ、ル  
又、通、行、禁、止、ノ、如、キ、ト、之、レ、アル、ハ、キ  
理、由、ナ、ク、レ、ハ、何、等、行、者、ヲ、生、セ、ル、モ  
ノ、多、ク、信、ス、ル、モ、一、應、向、合、ス、ハ、レ、ト、ノ  
之、ト、有、之、尚、未、存、在、ヨリ、ハ、是、小、徒  
取、歸、上、解、人、誰、何、ノ、必、要、有、之、  
於、レ、我、力、公、張、シ、於、テ、取、納、ノ、上  
証、明、書、ヲ、附、與、セ、ル、者、限、リ、通、過、セ

Handwritten notes on the right margin.

MT 11263 00020

MT 11263 00019

REEL No. 1-0079

0375

之ハコトトナスモ三層支  
 重ト者添テ申出  
 之者ハ右ノ浪法具知縣  
 於テ一時  
 語解トシテ抑制セシコト  
 已ニ解  
 林カシ義ト察居テ得共  
 絶居地外  
 地方ハ移住スル者ト  
 爲シテハ地方  
 相見テ付之ヲ制限セシ  
 トスル意旨尙  
 取調中ト有之候百君  
 之制限  
 或ハ方言尋成居候ト  
 執丁ノ道  
 台ノ第ニ文法可成見  
 込有之  
 在可設部告身申進  
 在教具

在開島日本帝國總領事館

MT 11263 00021

REEL No. 1-0079

0376

朝鮮に在る居留民の移住を禁ずるに  
関し、在りて居留民の移住を禁ずるに  
関し、在りて居留民の移住を禁ずるに

明治四拾四年三月拾壹日接受

警政務局

第一課

公信第五七號

受第 12283 號

明治四十四年四月二十六日

在間島

總領事 永瀧久吉

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

鮮人移民通行禁止交渉に關スル續報之件

通判

第3門

汪清縣下百草溝地方に於テハ移民通行禁止之件に  
關シ去ル二十四日付公信第五六号ヲ以テ致報生口置  
候處其後汪清縣知縣ハ巡警局長ヲ以テ百草溝  
出張所主任ニ對シ一般に通行自由ヲラシムル旨申

在間島日本帝國總領事館

迄未カ付鮮人ニ對シテハ其々ニ通達方取斗供旨  
同主任ヨリ通報ニ接シ其々ニ茲ニ為御參考及  
續報候 敬具

MT 11263 00023

MT 11263 00022

REEL No. 1-0079

0377

明治四拾四年 五月拾貳日接署

吉野政務局

明治四十四年 憲機第八三二號

義錢對岸清國官憲態度ノ件

鏡城憲兵隊長報告要旨

万急

要旨付了

一 威鏡北道義錢對岸清領三麻洞巡警局長ハ四月十六日三麻洞附近ニ耕作中ノ鮮人(義錢面内ノ者)ヲ呼集シテ汝等清領ト移住スルハ本職ノ最モ望ム処ナリ果シテ移住スルトセハ鮮人ノ舊慣ハ全然之ヲ排シ頭髮ハ勿論服装等

西十四年五月十六日記録一部受

支那情ニ改メサレハ移住ヲ許シ難ク又耕作モ絶對ニ許ササル旨注意セリト云フ

二 鮮人ニ前項ノ注意ヲナシタル後局長ハ吏ニ三麻洞ニ在任スル清人ヲ集メテ汝等ノ田畑ヲ鮮人ニ貸與シ小作セシメ居リシモ爾今決シテ之ヲ許サス依テ前約金ヲ收受シ居ルモノハ速力ニ返金スヘシト注意リ與ヘタリト

MT 11263 .00025

MT 11263 00024

清領土内ニ小作ヲナシ方法ハ一日耕ニ付前約金貳圓ヲ納メ秋收ノ穀類ハ田畑所有者タル清人ト二分スルモノナリ

三對岸清領ニ於テ小作ヲナシ生活スル羨錢面人民ハ前項ノ如キ清國官憲ノ行為ニ對シ不斯生活難ヲ唱ヘ居レリ

四浦項面長ノ語ル処ニヨレハ羨錢面深雲洞居住ノ申文七、黃坡

鎮城内金仁權周原面月下洞金富字全崔君濕ノ四名ハ四月十三日清領ニ出稼ノ目的ニテ渡江シタルニ三麻洞駐在官吏ハ何等ノ理由ヲモ語ラズ單ニ朝鮮人ハ清領ニ入ルヲ許サズ依テ帰還スヘシト言ハレタルモ四名ハ之ニ服セザリシヲ以テ兵卒二名ヲシテ樟項渡船場迄送還レタリト云フ以上ノ狀況ニテ鮮人ニレテ清

MT 11263 00027

MT 11263 00026

領、渡江出稼スルモノハ大ニ困  
難シツ、アリ  
以上

本件報告通牒先

陸軍大臣 外務大臣 参謀次長 憲兵司令官

總督 政務總監 總務部長官 内務部長官 外事局長

軍司令官 <sup>南邦</sup> 守備司令官 各憲兵隊長

MT 11263 00028

REEL No. 1-0079

0381



機密

明治四拾四年五月拾五日 滙濟

第3課 自付

文書課長

明治四拾四年五月拾參日 接獲

68

明治四拾四年五月十三日 北札  
同日 八月十五日 辨出

機密送第二八號

第一課

主任

水

浄書

校正原

主管

政務局長

在間崎

永瀧總領事宛

小村大臣

義錢 晴張江本 奉清國官憲態度ニ関

二件

四十四年五月十六日 記録十部受

外務省

義錢 晴張江本 奉清國官憲態度

度ニ関シテ 朝鮮總督府来信社受方

一五五五 辨出

MT 11263 00030

MT 11263 00029

明治四拾四年五月拾參日 接獲  
68  
水

五の

第3門

明治四拾四年五月廿貳日接受 奉 政務局

公信第百四號

明治四十四年五月廿

受第13221號

在 百島

統領事 永瀧 久吉

外務大臣候爵小村壽太郎殿

雜居地外移住者、對し清國  
官憲ヨリ控制ヲ難髮セシメタリ

朝鮮稔域對岸、清領凉水泉子  
於テ同地、清國武官ガ稔域方

面ヨリ移住者、對し清國武官ガ稔域方  
在間嶋日本帝國總領事館

セシムルト、別紙移牒アリタルニ依リ

當館在動ノ巡查補元容徳ヲ實

地、派遣シ内偵セシメタル處、歸未

別紙ノ報告ヲ提出セシメ付當村

ノ情況ヨリ推斷スルニ、恰モ四月初

旬頃百草溝、於テモ移住朝鮮氏

對シ暴徒取締等ノ理由ヲ以テ

汪清縣知縣カ朝鮮氏、移住ヲ妨

害セント人正テタル事、實(四月廿日府公信)

リタルト同時期、レテ一時汪清縣知

縣カ移民制限ノ目的、テ管下、涼

水泉子ニモ通牒シ實行セシメタル

モ、ラシク思惟セテ、本官ヨリ道

此の文は、在間嶋日本帝國總領事館に於て、永瀧久吉が小村壽太郎に宛てたものである。

MT 11263 00032

MT 11263 00031

REEL No. 1-0079

0383

台代理、交渉セシ結果百章溝  
於テ自由通行ヲ許可セルト共  
右等ノ行動ヲ撤回センモノト思考  
致候以段為念及報告候敬具

在開場日本帝國總領事館

11263

MT 11263 00033

REEL No. 1-0079

0384

Handwritten notes and stamps at the top right, including a circular seal and illegible characters.

第8門

明治四十四年五月八日

巡查元 容 惠

總領事館警察署長  
警部 堀内 善九郎 敬

穂城間島凉水泉子駐屯清國官憲ハ  
朝鮮ヨリ間島ニ入ル者ニ對シ全部之  
リヲ抑留ノ上頭髮ヲ支那風ニ剃リ放  
置スルトノ情況ヲ觀察スルハ余ヲ蒙テ  
客月廿九日徒歩ニテ龍井村ヲ出発シ各  
地方ヲ精々密察シ本月五日帰龍茲ニ  
右情況及複製御報告

在間島日本帝國總領事館

一 法官ヲ解人務任者ニ對シ務官ヲお  
シ之情況

凉水泉子ニ駐屯法官(巡防隊長哨友)楊勝  
友(約卒一才)ナル者ハ朝鮮ヲ移住スル者  
ニ對シ頭髮ヲ剃リタル上移住セシメタル事ハ  
確カナル矣有之ハ其理由ハ現今朝鮮ハ  
駐在スル憲兵分隊及令分遣所ハバストリ  
為メ豆満江沿岸各渡船場ニ監視員  
ヲ派遣シ清人ノ出入ハ之ヲ嚴重ニ取締  
ノ上領事館ヨリ發給セル証明書無キ者  
ハ專ラ解地ニ出入スル事ヲ禁止スルヲス  
テ凉水泉子居住(前凉水泉子巡隊長)楊  
主官ナル者カ楊隊長ニ告發シテ曰ク

Vertical handwritten note on the right margin.

MT 11263 00036

MT 11263 00035

REEL No. 1-0079

0385

此項は在官及在野の区別を以てし、  
 在官は在官の資格を以てし、  
 在野は在野の資格を以てし、  
 在官は在官の資格を以てし、  
 在野は在野の資格を以てし、

少の九、廿公行力之也早、此法

主領、自了、其、以、所、計、其、事、有、  
 難、地、外、後、任、者、好、清、國、有、密、令、預、制、  
 五、月、十、日、之、難、地、外、後、任、者、好、清、國、有、密、令、預、制、

明治四拾四年五月廿四日接受

外務大臣書記

11263 00034

MT

第一課

在官

第3門

スルトノ情、以テ、視察スルハ、  
 客月廿九月徒歩、テ龍井村ヲ出、  
 地方ヲ精々密察シ、本月五日歸龍、  
 右情、況及、其、事、御、報、  
 在官、  
 一、清、官、ヲ、解、任、者、  
 之、名、情、況、  
 涼、水、泉、子、  
 友、(約、三、才)、  
 之、對、シ、頭、髮、ヲ、  
 確、カ、ナ、ル、  
 確、在、ス、ル、  
 為、メ、豆、滿、江、  
 ヲ、派、遣、シ、  
 ノ、上、領、事、  
 ハ、專、ラ、  
 テ、涼、水、泉、子、  
 主、官、ナル、者、  
 楊、隊、長、  
 告、発、シ、  
 國、官、憲、ハ、  
 シ、全、部、之、  
 ヲ、刺、リ、  
 余、ヲ、受、ケ、  
 在、間、嶋、日、本、帝、國、總、領、事、館、

一、清、官、ヲ、解、任、者、  
 之、名、情、況、  
 涼、水、泉、子、  
 友、(約、三、才)、  
 之、對、シ、頭、髮、ヲ、  
 確、カ、ナ、ル、  
 確、在、ス、ル、  
 為、メ、豆、滿、江、  
 ヲ、派、遣、シ、  
 ノ、上、領、事、  
 ハ、專、ラ、  
 テ、涼、水、泉、子、  
 主、官、ナル、者、  
 楊、隊、長、  
 告、発、シ、

MT 11263 00036

MT 11263 00035

法人ハ豆滿江日本監視ノ爲ハ朝鮮  
 出入ナル事ヲ禁ハズ然ルハ朝鮮人ハ自由ニ  
 江ヲ渡リ農業ニ從事シ又ハ清國領土ニ移  
 住スルヲ我カ官憲ニ於テモ彼等移住者ヲ  
 今後ヨリ清國人ト同様ニ以維髮易服セシ  
 ムベシト願ヒタルニ依リ該楊隊長ハ部下  
 兵ヲシテ四月二日ヨリ四月四日迄三日間  
 婦女及小兒ヲ除ク外ハ老人ニ至ル迄  
 頭髮ヲ支那風ニ剃リ去ル者百人以上(頭  
 髮ヲ剃リタル場所ハ楊主及ノ宿屋ナリ)ニ達シ  
 タルヲ令地居住(前凉水泉子巡警分局長)胡  
 (名未詳)ナル者カ楊隊長ニ對シ移住者ヲ  
 強制的ニテ頭髮ヲ支那風ニ剃ラルハ  
 在開鳴日本帝國總領事館  
 國際問題ナルト云ヒ其不法行為ヲ反抗  
 シタルニ付今月五日ヨリ如斯不法及強制セ  
 ガルニ至リ右頭髮ヲ剃ラレタル鮮人等  
 ハ羅子溝、山盆溝、蛤蟆塘方面ニ移住スル  
 者ニシテ其時一時間島ハ往復セル者三十  
 數名ハ清國官憲ノ爲ニ頭髮ヲ剃ラルヲ  
 恐レ大洞村口(凉水泉子西方一里)ニ居住スル  
 鮮人全宗鎮(五十二才)ナル者ノ宿屋ニテ一日  
 滞在ニシテ翌日表路ヲ迂回シテ歸路ニ至  
 リタリ  
 以上ノ事實ヲ古全宗鎮ノ口頭ヲ以テ探  
 聞セリ  
 一月二日凉水泉子ノ近処大洞ニ於テ穩城

MT 11263 00038

MT 11263 00037

郡柔遠鎮居住張成甫(高三十八才)ナル者ノ語  
 リニ依レハ小百溝居住張德三ナル者ノ宅ニ  
 有用ノ爲メ往復スル途ニ四月三月高麗  
 峯上ニ於テ清國雜髮ヲナシタル者數人ニ  
 逢ヒ其雜髮ノ理由ヲ聞キタル処今人等ハ  
 璋春附近頭道溝ノ者ニシテ昨年今地方ハ  
 凶年ノ爲メ蛤蟆塘地方ニ移住スル目的ニテ  
 四月二日凉水泉子ニ至リ或清人ノ宿屋ニ  
 於テ投宿スル中清國兵ノ爲メ婦女及小兒  
 ヲ除クノ外老人ニ至ル迄デ雜髮セラレタル  
 者計ニ十名ナリ云フ  
 全日德城ニ至リ人民ノ風説ニ依レハ全  
 德城郡前韓國鎮衛隊歩兵副尉崔  
 在蘭(蘭日本帝國總領事館)  
 齊岡ナル者ハ凉水泉子駐屯巡防隊楊  
 勝友ト前面アル故崔ハ凉水泉子ニ何カ  
 有用ノ爲メ往キタル中楊隊長ニ面會  
 ノ上鮮人移住者ヲ清國ノ剃頭セシムルハ  
 國際問題ナラザルヤト問キタルニ隊長ノ  
 答ニ曰余ハ不在味ニ部下ノ兵卒等カ如  
 ト斯不法行為ヲ爲シタル事ナリト云ヒタリ  
 一、鮮人移住者ニ對シ清人ノ感想  
 今般出張中各地方ニ居住スル鮮人等ノ  
 風説ニ依レハ目下朝鮮ニ於テハストノ  
 爲メ清人ノ往來スルヲ禁止スルトノ風説  
 ニ付江清及德城間島方面ニ居住スル

MT 11263 00040

MT 11263 00039

REEL No. 1-0079

0388

清人等ハ鮮人旅行者ニ對シ暗々旅行ヲ妨害スルノミナラズ汪清地方ニハ日本ノ國ニ斷髮ヲ爲シタルモノハ清人ノ爲メニ旅行上危険ナリト云フ  
 慶源地方ノ鮮民等カ穩城間島内西島(凉水泉子東北方約三十清里)ト稱スル地矣ノ地主楊主官(前記ニ述ベタルモノ)ト該地方ツ開墾シタル後三年間ハ無料ニシテ其以後ハ清一日耕ニ付半分宛分配スル約束ヲ爲シ昨年七月以來漸次移住シ月々増加シ来ルル朝鮮人二十ニ戸ナリタルガ今今年旧二月末頃ニ至リ該地主楊主官ナル者カ前記三年間ノ約束ヲ背テ實地カ在間島日本帝國總領事館居住スル鮮人中強髮易服ヲ爲サバハモノニ限り強制的ニテ退去ヲ爲サシメタル処ハ戸之ヲ不服シテ王清地方ニ轉住シ殘餘者ニアリテハ婦女ヲ除クノ外小児ニ至ル迄テ悉ク強髮易服ヲ爲シテ強制下ニ假服シ居レリ  
 右ノ事實ハ柔遠鎮居住全致彦(當三十五才)ナル者ノ口頭ヲ以テ探聞セリ  
 三、山海成ト崔齊固ノ狀況  
 凉水泉子及今附近ノ鮮人等ニ對シ山海成ト稱スル高峯ノ有無ヲ聞キタルニ山海成トハ全無ニシテ三合盛ト稱スル大高峯アリ主人ハ胡シサシナル者ニシテ凶器ヲ隱置

MT 11263 00042

MT 11263 00041



レタル等ノ事ハ不明ナリシガ元来崔齊  
園ナル者ハ右凉水泉子ニ數十日耕ノ所有  
土地有ルヲ以テ三合盛ハ親密ニシ居レリト  
云フ又ハ崔ハ近頃觀光團負ニ撰ハレ実業  
視察ノ為メ日本ニ行クトノ風説アリ

以上

在間嶋日本帝國總領事館

MT 11263 00043

REEL No. 1-0079

0390

明治四十四年 憲機鏡第八二號

尚島 法國官憲ノ態度及清人尚

風説ノ件

訓式模分隊長ノ報告

四月一日ヨリ尚島ニ於ケル暴徒状況内模ノ  
為メ系遠鎮分遣所長ノ派遣セル密丁ハ  
四月八日歸來セリ其齎ラレタル状況尤ノ如

目下尚島(穩博對岸)凉水泉子ニ駐屯法國

官憲ハ朝鮮ヨリ尚島ニ入ル者ニ對シ全部

之ヲ柳苗シ保証人アルモノハ其係通過セ

シメ保証人ナキモノハ三日尚柳苗ノ上頭髮

ヲ支那風ニ剃リ放遣シ又尚島ハノ移住

在蘭場日本帝國總領事館

者ナル事判明セル時ハ必カ支那凡ノ剃リ

展レリト

二現今朝鮮人ニシテ移住者ニアラサル者一

時尚島ハ往復セル者ハ法國官憲ノ為

ニ柳苗セラレ差クハ頭髮ヲ剃ラレテ恐レ

遠路迂回シテ自己ノ用便ヲ達ス居リ

朝鮮人ノ迷惑一方ナラズト

三尚島在任セル支那人ハ同們江岸監視ノ

為メ朝鮮ノ渡ル者ハ必カ朝鮮人ハ

自由ニ江ヲ渡リ農業系ニ就料採取ノ方

ナリ尚島ニ入ルヲ得之ニ當リ江岸ニ居住セル

法人モ朝鮮人モ同様自由ニ出入ヲ為シ得

ル如ク局子街ニ訴フヤシト云ヒ居ル法人ア

MT 11263 00045

MT 11263 00044

REEL No. 1-0079

0391

リキリ

四、露國「ハルビン」地方より石島<sup>五</sup>青<sup>（樺太地）</sup>ノ  
山味に入り来リタル清人ノ言々依シハ「ハルビン」  
ヨリ吉林省方面ニ向テ露國軍隊斬リ次  
侵入シ清人ヲ苦メワリアリ故ニ該地方ノ清  
人ハ他ニ移住スル者多シト又王青地方山中ノ  
徒住セル法人等ハ何事ヲモ知ラズ「ハル  
ビン」地方ヨリ来リタル法人ノ言ヲ聞キ露國  
ハ吉林省ヨリ侵入シ日本國ハ江岸ニ於テ見  
張リナシは露國人ノ入國ヲ禁シ居ルハ今ニ  
何カ一大戦闘が起ル原因ナリ杯一般ニ風  
説ヲナシ居ル

在間嶋日本帝國總領事館

ナシ

明治四十四年四月十七日

本件報告通致先

宣兵隊司令官及各分隊長 各於幕長  
東部守備区司令官 中村大佐 吉岡大尉

MT 11263 00047

MT 11263 00046

此項在日領及官領地才之陸軍官署及海軍官署に於て之を  
總て之を報告す

明治四十四年五月廿九日接獲

主官 政務局

秘受第1752號

明治四十四年 憲裁第九七六號  
五月二十四日

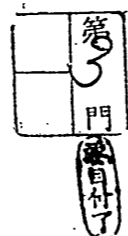
清國官憲強髮強制ノ件

五月三日在間島吉田憲兵大尉報告要旨

通

穩城對岸清國凉水泉子清國官憲ニ於テ  
移住ノ為メ該地ヲ通過スル鮮人ニ對シ  
強制強髮セシメ且之ヲ肯セサルモノハ  
抑留云云(穩城憲兵隊長通牒)ノ件付巡查ヲ  
派差シ調査セシメタル処其事實尤ノ如

MT 11263 00048



一、清國綜水取締部及養錢對岸三麻洞地方

ハ汪青縣ノ管轄ニ屬シ在百草溝和縣  
ハ暴徒取締食塩密輸入防止ペスト防  
疫等ノ名称ノ下ニ移住民ノ通過ヲ禁  
シタル紙四月初旬在百草溝領事分館  
ニ訴空テタル鮮人アリ其當時不審事  
項ヲ列挙シ總領事ヨリ道臺ニ交渉セ  
シヲ以テ已ニ該知縣ニハ誤解ナキ様  
訓令シタル筈ニシテ汪青縣巡警局長  
ハ四月二十一日百草溝分館ニ來リ通  
過解禁ノ旨言明セリトノ報告アリ

MT 11263 00049

二尚ホ事實ノ有無ヲ取調ヘタルニ現今  
朝鮮内官憲ニ於テハ江岸監視ノ爲メ  
清人ノ出入ハ嚴重ニ之ヲ取締ルヲ以  
テ自由ニ渡江スルコト能ハス然ルニ  
鮮人ハ通過自由タルヲ以テ其等移住  
者ノ制限策ヨリ出タルヤ否ハ不明ナ  
ルモ四月二日ヨリ全四日ニ至ルマテ  
三日間凉水泉子巡防隊哨官揚勝友ハ  
部下ノ兵ヲシテ該地通過ノ移住鮮人  
ニ對シ婦女及小兒ヲ除ク外強制雜髮

MT 11263 00050

セシメタル者百名以上ニ達セリト然  
ルニ全地住前巡警分局长タリシ胡某  
ナル者ハ揚巡防隊長ニ對シ移住者ヲ  
強制的ニ雜髮セシムルハ後日尙顯ノ  
種トナルヘキ旨注意セシニ同月五日  
ヨリスノ如キ不法行為ヲ強制セサル  
ニ至レリト以上鮮人ハ羅子溝百草溝  
蛤蟆塘方面ニ移住セルモノナリ他ノ  
移住者ハ此等不法行為ヲ用キ大同於  
口(凉水泉子西方一里)方面ニ迂回セルモノ

MT 11263 00051

ア  
リ  
ト  
云  
フ

三 凉水泉子捕逃防隊長ノ察シタリト云  
フ別紙告示文ニ就テハ總領事ヨリ目  
下道台ニ交渉シ事實確メ中ナリ  
以上

本件報告通牒先

陸軍大臣 外務大臣 参謀次長 憲兵司令官  
總督 政務總監 總務局長 外事局長  
内務局長  
軍司令官 捕部守備司令官 各憲兵隊長

MT 11263 00052

陸軍第貳拾參鎮步隊甲五協九拾標二營

左隊官五品頂戴放補把總楊為

出示曉諭事照得入中國墾種田之韓民均  
宜改換中國衣服鞋履剃去頭髮歸入中國  
之籍准其在托盤溝及元榜溝等處墾種田  
地為此曉諭入中國墾種之該韓民等務宜  
恪遵倘有不肖之韓人故敢抗違惟不准其  
墾種定行訊究驅逐回國決寬貸勿謂言之  
不豫也切々此諭

告示 右諭通知

宣統三年三月初十日

實貼托盤溝

MT 11263 00054

MT 11263 00053

大正九年二月九日接受

秘受第一五三九號

機密公信第一四號

大正九年一月二十七日

在瑛春

副領事 秋洲 靜三郎

外務大臣 子爵内田康哉殿

吉林督軍ノ密令ニ關スル件

吉林督軍ノ鮑貴郷ハ此ノ頃左記概要ノ密令ヲ内達シタル趣ヲ以テ當地  
商務會及ヒ農務會ニテハ之ヲ各郷社長ニ即達シ一般ニ周知セシメ尙農  
務會ニテハ來月六日(陰十二月十七日)之ヲ敷衍シ該趣旨ノ徹底ヲ期  
スヘントノコトニ有之候條何等御參考ノ爲メ此段報告申進候敬具

外務省

MT 11263 00055

記

世界列強ノ相鼎立シテ互ニ利權獲得ニ汲々タル刻下ノ時局ニ鑑ミ吾  
等中華國民ハ先ツ國民ノ義務トシテ日本ヲ排斥シ之カ實行策トシテ  
左記ヲ政行セサルヘカラスト

一日本人ニ土地家屋ヲ提供スヘカラス

一日本人ヨリ金錢ノ融通ヲ爲スヘカラス

一日本物貨ハ絶對ニ使用セス本國品ヲ使用スヘシ

本信寫發送先

以上

在支公使 吉林總領事 間島總領事

(原書ハ第二部「支那ニ於ル日本商品同盟排斥一件」ニアリ)

外務省

MT 11263 00056

REEL No. 1-0079

0398



附録に於て是等ノ事ヲ報告シ在任中ノ人ニ  
対シテ之ヲ報告スル事ヲ要ス

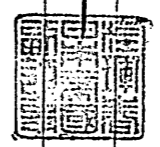
大正九年貳月廿日 接受 警務局 第三課 第...

機密公信第一九號

大正九年二月九日

在彈春

副領事秋洲郁三郎



外務大臣子爵内田康哉殿

救濟會ニ関スル農務會ノ決議報告

、件

客月二十七日附機密拙信第一四號ヨリ以テ吉  
林督軍ノ密會ニ基キ本月六日該密會ノ趣  
旨敷衍ノ為メ集會有之キ旨及報告置候  
處果シテ農務會長孟廣泰、協領署主任(滿  
州旗族生計進行會)重昌、勸業所長河

在開島總領事館羅春分館

廉惠、高務會長蕭義精及ヒ各郷長等農  
務會ニ召集評議シテ左記ノ決議ヲ爲シタル  
後之ヲ彈春縣知事ニ報告シ知事ハ本報告  
ヨリ是認シテ會集ニ力勵行リ訓諭シ尚ホ  
此ノ際急遽管内ニ於ケル執照(地券)所  
有者ヲ調査シ執照ノ行先ヲ詢不之ヲ本  
年内(陰曆)ニ報告スル旨特ニ各郷長ニ  
嚴達セ由メ有之候條何等御参考ノ爲メ  
此段及報告候致具

記

一救濟會ハ其ノ實質東洋拓殖會社ト同  
體ニシテ現今當縣下ニ於テ盛ニ土地ヲ買

第3門 要目付

秘受 2021號

MT 11263 00058

MT 11263 00057

REEL No. 1-0079

0399

取シ既ニ千余町歩ニ及ヒ尚繼續之カ買収  
 二努ムル、ミナリス執照(地券)ヲ担保トシ  
 テ時價以上ノ貸出ヲ爲スハ畢竟担保土  
 地ノ流亡ヲ見込ニ形式ヲ貸借ニ假ルトモ  
 モ土地ヲ買収スルノ意ニ外テラス然ルニ一時  
 高率ノ貸出、眩惑シ土地ヲ担保トシテ  
 借出スコトヲ爲スモ返満期日ニ返満リテ  
 ル能ハカレハ担保土地ハ自ラ外人ノ所有ニ  
 歸スハク今日ノ儘ニシテ放任セハ條下全般  
 遂ニ日本ノ手ニ掌握セラルニ至リ誠ニ寒心  
 二堪ハカレトコロナリ若シ夫レ外資ヲ輸入シ  
 之ニ依リ事業ヲ企劃スルノ意固アリ各  
 自ノ土地ヲ担保トシテ官銀錢弗ニ協商  
 スハク必スヤ官銀錢弗ヲ於テハ資金ノ融通  
 二各ナラカレハ金希ノ如キモ亦救済會ニ  
 越エルナカラシムヘシ  
 二自今救済會ヨリ資金ノ供給ヲ受ケハトスル  
 者アルハキハ其ノ所有執照ヲ官ニ於テ没収  
 シ國有土地トスルキ事、  
 三、從來救済會ヨリ執照担保ニ依リ資金  
 ノ供給ヲ受ケタリモ、コレヲ返満期日ニ返  
 滿シ得サルモ、官金ヲ以テ返満シ執照  
 ヲ没収シ國有地トナスコト、  
 以上  
 本信寫發送先、  
 在支公使、吉林總領事、  
 南島總領事、

在間島總領事館揮春分館

MT 11263 00060

MT 11263 00059

大正九年七月六日 接受

管通薦 第一課

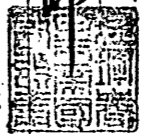


機密公信第...

大正九年六月二十六日

在彈春

副領事 秋洲郁三郎



被受08378號

外務大臣子爵内田康哉殿

救済會、對スル支那側ノ對抗策報告

、件

閩島救済會(東洋拓殖會社、事業)が役員ヲ彈春、滋遠シ地券ヲ擔保トシテ農民、貸付ツテレ一方水田經營、着手セルニ未其成績良好ナル者、支那側官民、

記録第一二部接

在閩島總領事館彈春分館

於テ恐慌、餘之ヲ對抗策ヲ講シ居レル次第ハ本年一月二十七日付機密公信第一四號並、今二月九日付機密公信第一九號ヲ以テ報告、及置候處其後彈春官銀分辦総辦季字東ノ運動、ヨリ本月中旬尙吉林官銀局ヨリ吉林官帖百四十萬吊ヲ送金シ来レル付農務會、於テ各御長以下ソ召集シ現、救済會ヨリ地券ヲ擔保、借金シ居レル者、氏名及金高ヲ調査、上各債務者、對シ救済金ト同様ノ利率、テ貸與ス、キ旨ヲ諭達方達示セリト事有之候

右御参考、爲及報告候致具

MT 11263 00062

MT 11263 00061

本信寫送付先  
在支公使  
吉林總領事  
向島總領事

在開島總領事館輝春分館

MT 11263 00063

REEL No. 1-0079

0402

附屬書類添付

大正拾年一月七日接受

臨海に在りては島民の生活に支障を及ぼす事なきを期す

機密第二號

大正十年一月七日

亞細亞局

第三課

在間島

總領事代理領事課 共三書

秘受 0594號

要旨付 外務大臣御前内田康哉殿

大正九年十二月二十五日

百草譯出係所存在素 機密第一六一號寫送付

本官宛

件名

支那側ノ鮮人所有土地丈量ニ関スル件

本信送付後存在支公係

第3門

MT 11263 00064

附

機密第一六一号

大正九年十二月二十四日

百草溝出張所

主任 板垣 吉次

在阿島

德政事代理領事塚英三告殿

支那側鮮人所有土地丈量ニ関スル件

我軍隊出動以來支那官憲ハ省長ノ命令ニ依ルモノトシテ已ニ一ヶ月前ヨリ小百草溝地方ニ縣公署ヨリ土地丈量ノ為メ数名派遣シ各鮮人所有地畚ヲ引揚ケ更ニ丈量スヘシトシ一般鮮人ノ不安スルコト不少去レハ土地所有鮮人ハ地畚携帶當地

在阿島日本帝國總領事館

方ハ避難ニ来リシカ約二十日前小百草溝神湖畔居住人全呂島ナルモノ所有地畚ヲ取上ケタリ該地畚面参考地以外尚十七八垧地一餘分未墾地アリシカ彼等支那官憲ハ開墾地以外ノ土地ヲ没収シ學田トスヘキナリト申渡アリトテ其不法ヲ當所ニ交渉テ願出タル故小官ハ本件ニ関シ七八回ノ交渉ヲ重クタルモ知事ハ省長ノ命ニ基キ大正七年四月以降賣買セシ土地ハ丈量スヘキ旨迄ニ疑面ヲ積以外ハ全部没収スヘキ旨ヲ語リタリ尚以前ニ知事ノ誤謬ニ依リ地畚ヲ作戦シタルカ為テ誤知事ハ已ニ相當処分セラレタリト語之尚今後鮮人ニハ土地ノ賣買セサルコトニナリシ旨口吻ヲ減シタリ茲ニ於テ小官ハ例令前任者ノ誤謬ニモセヨ東西南北ノ境界ヲ明

MT 11263 00066

MT 11263 00065

REEL No. 1-0079

0404

在間島日本帝國總領事館

記之款面之積ヨリ實際ハ多少ノ相違ハ已ニ從來ノ  
例ニ照シテ明ナル外ナルノミナリ支那人ニ對シテハ之ヲ行  
ハス鮮人ノミニ施行スル理由ヲ知ラズ斯ル不令理ハ即  
チ鮮人ヲ苦シムルノ政策ニシテ何故支那人モ同一ニセ  
サルヤ斯ル不都合ノ行爲ハ官憲トシテ敢テセラルニ  
於テハ小彼ニ於テモ相當充分ノ所置ニ出ツヘキ覺悟  
アリ支親善ノ主旨ハ斯ルコトヨリ起ルモノニシテ由來  
認メラレ之慣例ヲ打破スルノ理由ヲ知ラズサレハ考一考  
セラレタト述ヘ尚諸種ノ例ヲ引キ注意方交渉シタル  
ニ知事ハ貴官ノ意思モ了解シタルハ不公平ノ事ナキ様  
祈置スルト共ニ上司ニハ適宜報告之旨クヘケレハ安心  
セラレタト一昨日申述タルカ知事モ心ヲ翻シタルモ  
カ本川金品禹知事署ニ呼出サレ該地署ヲ其儘下  
附之領事ヨリノ注意モアリ不測已下附スルモノナリ  
云々

MT 11263 00068 MT 11263 00067

右類末ヲ具シ此段報告申進候 敬具